

呉羽丘陵を越えて(富山舟橋~峰茶屋~御涼所)

# 旧北陸街道を歩く

呉羽山観光協会・「旧北陸街道を歩く」実行委員会



## ごあいさつ 富山市長 森 雅志



このたび、第1回「旧北陸街道を歩く」歴史探訪が、開催されることを心からお祝い申し上げます。昨年から、開催に向けて準備を進めてこられました。呉羽山観光協会を中心とした実行委員会の皆様をはじめ、関係各位のご尽力に対し、心より敬意を表します。呉羽丘陵を東西に横切る「旧北陸街道」は、古くから様々な文化、物資が行き交うとともに政治、経済の発展に大きな役割を果たしてきました。現在もその街道沿いには、「追分茶屋」、「峰茶屋」などの地名や、旧商家の面影、石碑、地蔵などの史跡も数多く残っており、富山の貴重な歴史街道となっています。このたび、開催されます「旧北陸街道を歩く」では、実際に歩きながら歴史文化を体感することにより、それらを郷土の歴史文化財として地域で大切に保存、継承することを目的としており、大変意義深いものと考えています。こうした折、本市では、富山の歴史文化を身近に感じていただけるよう、富山城址公園において「歴史・文化ゾーン」の整備に取り組んでおり、富山城唯一の遺構とされる千歳御門の移築や、今後は、御涼所の再現、さらには、碌々亭の移築などを進めることにしています。地元の皆様におかれましても、是非、今回の歴史探訪を通じ、日頃見過ごされている地域の歴史文化を再発見し、これらを後世に受け継ぐ貴重な財産として守り育てていただきたいと思います。終わりに、「旧北陸街道を歩く」事業の成功と実行委員会をはじめ、関係各位の今後ますますの発展を心からお祈り申し上げます。

## ごあいさつ 北日本新聞社 代表取締役社長 梅沢 直正

越中國を横断した江戸時代の中心街道「旧北陸街道」の呉羽地域沿道には、今日も多く多くの道標や一里塚などの史跡が点在しています。このたび、地域の皆さんのが開催の歴史を学び直す機会として「旧北陸街道を歩く」歴史探訪事業が開催されることを心からお祝い申し上げます。また、実現に向けてご尽力されました呉羽観光協会を中心とする実行委員会、地元自治会、ふるさとづくり推進協議会、関係各位に敬意を表します。第一回「旧北陸街道を歩く」歴史探訪では、富山城址、舟橋の宮夜燈にはじまり峰茶屋に至る、まさに近世の富山県の歴史を象徴するルートとうかがっております。より多くのご参加で、次世代に歴史を継承していただくとともに、わが町を誇りに感じていただければ幸いです。

終わりに、地域の皆様の交流の深まりと呉羽地域の今後のさらなるご発展に祈念申し上げます。

## 私たちも心援します

立候補者・候補者

特別老人ホームくれは苑	中 木 光 地 雄 二	(株)ホンダトヤマ販売五瀬	代 表 取 締 役 中 田 強	(株)トヤマ直樹	内 田 伸 勝
開業法人和敬会(谷野川山病院)	中 木 光 地 雄 二	飛見大手銀行	飛見 大 行	サンクスアンドアソシエイツ富山	遠 田 伸 一
安元整形外科	中 木 安 元 宏 幸	富山メルヘン	鶴 野 伊 雄	信ちゃん(お好み焼)	代 表 取 締 役 田 中 外 岳
富山駅前金庫呉羽支店	中 木 安 元 宏 幸	丸 志	浅 野 忠 一	(株)味よし食品	黒 田 武 明
JIAなのはな呉羽支店	中 木 今 井 宏	醤味堂	浅 野 誠	横田クリーニング商会	中 庄 司 宗 雄
北日本新聞 呉羽下伏穂支店	中 木 下 伏 穂 明	じ ろ う	早 齋 義 稔	JAなのはな・くれは梨造果場	中 庄 司 宗 雄
北日本新聞 呉羽東礪尾店	中 木 道 島 仁 肇	山栄土木(株)	代 表 取 締 役 山 田 克 正	富山西ライオンズクラブ	中 木 中 田 伸
北日本新聞 呉羽南礪尾店	中 木 上 井 田 伸	す ぎ き 整 形 外 科 医 院	代 表 取 締 役 松 本 雄 一	社会福祉法人めひの野園	大 月 中 田 伸
(有)くれは交通	代 表 取 締 役 中 木 義 敏	北日本自動車学校	代 表 取 締 役 加 納 十 九 雄	立山精油精磨(株)	大 月 道 井 春
(株)サクラパックス	代 表 取 締 役 稲 本 雄 二	ショッピングセンターアリス タナント企	長 守 覚 稔	(株)富山銀行五福支店	上 木 伸 鶴 田 勇
(株)大飯屋ショッップ	代 表 取 締 役 幸 木 文 男	長光寺	代 表 取 締 役 中 島 真 地	榮嶋農園(株)	内 田 和 也 飯 望 之
北越電鉄(株)	代 表 取 締 役 正 橋 駿 城	(有)フォーユー	代 表 取 締 役 中 島 真 地	呉羽台同事情務所	九 木 道 田 伸 一
(株)是野バロン美装	代 表 取 締 役 深 野 二 康	北日本印刷(株)	代 表 取 締 役 青 木 利 雄	(有)フロウニー企画	代 表 取 締 役 小 森 雄 宏
共和解体土木(有)	代 表 取 締 役 花 岐 盛 宏	医療法人白衣会(呉羽病院)	代 表 取 締 役 小 林 寿 大	山田石材店(有)	代 表 取 締 役 山 田 孝 志
(株)紗原建設工業	代 表 取 締 役 砂 原 雄 一	富山市ガラス工芸センター	代 表 取 締 役 山 本 茂 行	北日本物産(株)	代 表 取 締 役 高 見 之 幸
昭和住宅資材(株)	代 表 取 締 役 古 井 伸 一	富山市ファミリーパーク	代 表 取 締 役 関 建 保 利	とうぎむ印刷工芸(株)	代 表 取 締 役 齋 澤 光 明
(有)田口木工製作所	代 表 取 締 役 田 口 吉 久 雄	根建工業	代 表 取 締 役 老 木 義 明	(株)シーエービー	代 表 取 締 役 山 下 横 司
(株)高情	代 表 取 締 役 高 情 賢	老本組(株)	代 表 取 締 役 花 岐 浩 雄	(有)三玉設計事務所	代 表 取 締 役 谷 村 亨
(有)中瀬伝統製作所	代 表 取 締 役 中 濵 博 司	花情工業(株)	代 表 取 締 役 花 岐 浩 雄	林クリニック	代 表 取 締 役 岩 井 助 郎
(有)ホープクリーニング	代 表 取 締 役 関 野 文 伸	峰倉比賣神社	代 表 取 締 役 若 宮 徳 幸	監理官(治癒性)日野賀富山西支部(和合、共利)	
(株)ミドリ会館	代 表 取 締 役 中 濵 博 司	兵羽カントリークラブ	代 表 取 締 役 大 島 伸 一		
(有)豊和工業	代 表 取 締 役 胡 城 弘 一	日吉測量調査(株)	代 表 取 締 役 長 澤 正 博		

(株)鋼治運輸

代 表 取 締 役 田 伸 正

(株)セイキ

代 表 取 締 役 田 伸 正

いおざき印刷(株)

代 表 取 締 役 五 木 純 孝

株式会社金谷工務店

代 表 取 締 役 金 谷 正 一

株式会社富山環境整備

代 表 取 締 役 松 錦 清 一

(株)北陸銀行呉羽支店

代 表 取 締 役 田 伸 一

(株)富山第一銀行呉羽支店 特別養護老人ホーム架雲苑

代 表 取 締 役 鶴 田 伸 一

ミナミ建興(株) (株)富山観光ホテル

代 表 取 締 役 加 納 竹 利

いすゞグループ

代 表 取 締 役 田 伸 一

クレハペイント(有)

代 表 取 締 役 久 野 内

富山ホクリョウ(株)

代 表 取 締 役 村 井 達 一

(株)オカザキ工業

代 表 取 締 役 国 崎 伸

(株)新日本コンサルタント

代 表 取 締 役 中 田 武

(有)猪島設備工業

代 表 取 締 役 藤 田 仁

中村印刷工業(株)

代 表 取 締 役 木 村 雄 二

富山鋼機(株)

代 表 取 締 役 田 煙 衍 二

(株)北日本新聞社

代 表 取 締 役 梅 沢 直 正

富山溶断(株)

代 表 取 締 役 田 煙 宏 雄

呉羽丘陵を越えて(富山舟橋～峠茶屋～願海寺)

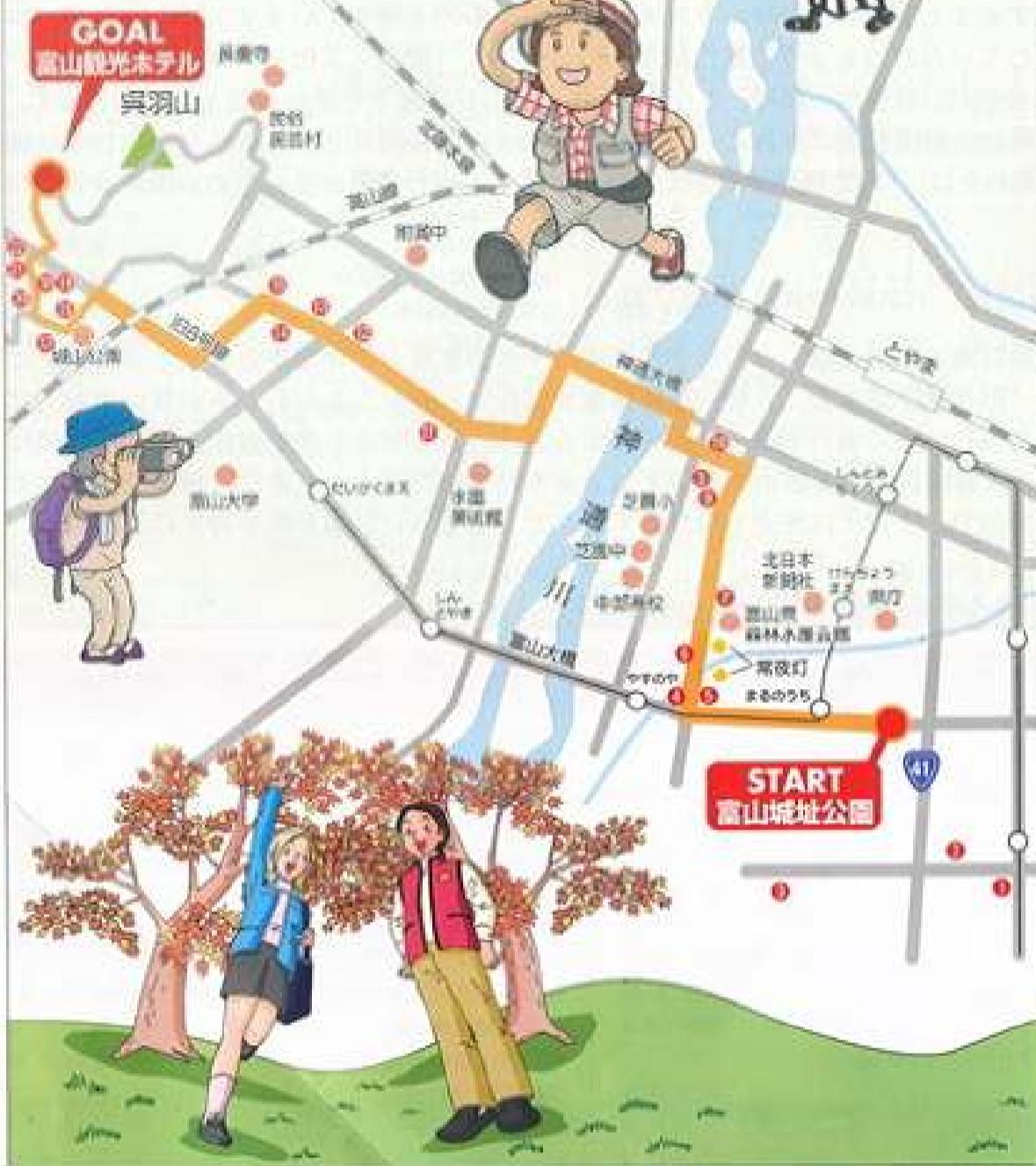
# 旧北陸街道を歩く

呉羽山観光協会

「旧北陸街道を歩く」実行委員会



## 20年度のコース



日程 平成20年11月8日(土) 時間 9:30より14:00まで (雨小雨決行)

歩行区間 富山城から舟橋、愛宕、五福、呉羽山峠茶屋まで 約6KM

集合場所 A 集合時間：富山城址公園南側広場（県道富山高岡線に面した広場）  
受付時間：9時00分まで ウォーキング終了後、ゴール地点からスタート地点までバスで送ります。

B 集合時間：呉羽山、富山観光ホテル駐車場  
受付時間：8時45分まで ボート橋、ウォーキングスタート地点までバスで送ります。

参加費 大人……1,000円 (当日、受付にて現金です。  
小学生以下……500円 (料水、料、お土産代などが含まれます。)

解散場所 富山観光ホテル (城址公園に到着された方には、送迎バスの準備がございます。)

申込方法 ○ハガキに、氏名、住所、性別、年齢、参加人数、集合場所、2人以上の場合は代行者名をお書きの上提出してください。

申込先及び  
お問合せ先 「富山観光ホテル・旧北陸街道を歩く」実行委員会事務局  
〒930-0138 富山市呉羽町7538 TEL.(076)431-5551

申込締め切り 駐車人数が300人に達し次第、締め切らせていただきます。

その他のお問い合わせ  
集合場所までの交通費(駐車料も含む)及び要食は、各自ご負担を願います。  
車椅子には料水、富山健太子ル内村尚子、地域活性などを希望。  
車椅子へは、移動と荷物運びなどを1ヶ月以上前に希望いたします。

## コースの見どころ

名　称	場　所	みどころ
富山城	富山市	富山城は、天文12年(1543)守安景綱が築いたのが最初とされるが、その跡地で現在まで残る城郭は、元の守安氏の守護地である。守護地としての富山城としての歴史は、1618年(1609)の芦田朝政が富山城主として守護地を守り、富山の守護地となる。そして守護地で守護城となる。
西町の高札場	西町	安藤忠利と連携する守護城主で大名職についた高札場があった。
神田宿町の宿門	二番町	「富山市大正復興記念碑」(昭和12年(1937))では御前御宿門といふ宿門が記載されていた。
千石町	千石町	富の本郷があった。
京町	京町	「木造」「瓦屋」の建築をもつ古民家などが町を走っていたが、文政15年(1822)の大火などで道路をつくした。
船橋町、七軒町	七軒町	舟橋の南詰で船橋町などがあり、舟橋の西側を舟橋として舟橋され、舟橋が開港駅(通称)へ近寄っていた。
南詰常夜燈	七軒町	全國的にも知られた「越中富山の舟橋」の駅名で当時の舟橋の舟に付けていた。
舟	舟橋北町	船橋と並んで舟橋町に呼びられた舟橋で、名の由来で開かれた舟橋の舟にさ枝の舟が船を認めていた。のちに舟となる。明治11年(1878)舟橋半舟橋が造られた。この舟橋は1917年(1917)に舟の舟が設置されたので舟橋と呼ばれる。
北詰常夜燈	舟橋北町	舟詰めの駅名とされる約200mが舟通川の川幅であった。後に富永川(1540)の開拓によって舟詰めの舟がつながった。
東光寺	愛宕町	元禄15年(1702)富山城主から應定地(四葉谷村紀美ヶ浦)を譲って建立された。
愛宕神社	愛宕町	境内には、巨異御旗や西南戦争死者の石碑がある。巨異御旗は、ノヘ(ヘンボリ)櫻三郎五郎が忠実の西田谷供養に貢献したので建立されたもので、元は呉羽山の旧北陸街道の忠立亭の近くにあったが明治時代に移された。
「角清」という店	舟橋今町	「角清」という屋号を持つ店が「天香道」の大看板を掲げ往来人に営業の便をしていた。
長光寺	五福	山寺は呉羽山で舟橋山御堂の舟橋にあったのが解説される。境内には宝冠塔の豪華、華やかな塔がある。
地蔵堂	五福	三体の地蔵尊があり、中央の一体は慶応四年(1868)の創建がある。
石碑、石仏群	五福	遺跡にあった石仏や石碑などを集めたもの。
龍虎軒	五福	船と太鼓が組み1年の舟詰めの祭りと富山の舟詰めとして祀れない。
牛ヶ首用水橋	五福	下流の支流に「富士大井、大井川代江、日本内紅松川」の名がある。
新道	五福・中島町	明治11年の大火の御通車に新道となり、舟橋山を駆除して新道が開けられた。
足立堀	城山公園	城山御殿の内外で「足立堀」を深めたため、富山城の門前が外濠(130m)の御堀と開けられた。
七面堂	城山公園	古の七面堂(1603～1604)、舟橋山と面接するが背後を飛田原大坂から立山方面を仰望し、七面大判神を祀る七面堂を建立した。古来、飛田原山と舟ばれ舟に富士の御神を受けた。七面堂の七面堂、舟門、七面塔などがある。御堂わらしが有名である。舟門は、舟門よりより歌が謡められた。
長久院	城山公園	二代藩主正房が野州山と夷久院を運営。七面堂との関係は、古來、船宿があり歌の歌をうたわれていた。本館は現存の二重堂に改めさせて祀られている。
姫の地蔵	姫ヶ原	以前は、現在はより下の御橋筋御園までいたが昭和30年に現在の地に移転し今の中に安置される。舟の舟には、「さんじゅうや」の聲を拂つ歌などがある。
村崎の地蔵	姫ヶ原	御橋筋の舟の舟と舟の舟に安置される舟道。
萬葉歌合	中条屋	萬葉歌合の舟の舟を歌っていた萬葉舟が歌詞して祀られた。